



呼吸器疾患とSDGs

医学部 講師 沖本 民生

呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患、肺炎、肺がんなど）は、日本人の主要な死因の一つであり、その予防と適切な医療へのアクセス確保はSDGsの重要な課題です。当教室では、これらの課題解決に向けた実践と研究を両輪として取り組んでいます。具体的には、慢性閉塞性肺疾患の予防として禁煙の重要性に着目し、附属病院に禁煙外来を設置して禁煙支援を推進しています。また、肺炎予防のためにインフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、肺炎球菌ワクチンの接種啓発と接種率向上に努めています。さらに、肺がんの早期発見を目的として、JA島根厚生連と連携し車載型低線量CTによる検診を実施しています。加えて、これらの取り組みを発展させるため、COPD早期発見のための簡便な問診票の開発、肺炎球菌ワクチンに関する医療機関調査、精密検査未受診者の特性解析などの研究を進め、地域医療の質向上に貢献しています。